

### 委員長報告に対する質疑

#### 平成23年度大豊町一般会計予算



小笠原春行 議員

畜産振興費の褐毛牛飼育委託料と褐毛牛2頭購入費について、私が本会議場で質問をしたが、一議員としての発言を尊重し、どうも資料の要求をして審議をしたのた。

商工費の地域間交流推進事業委託として、近畿日本ツーリストと平成22年度から3年間の契約を締結している。1年間が経過したが、経過報告と今後の計画について資料要求をしたが提出がない。委員会へ資料の提出があり審議をしたのた。



今井安博 総務産業建設 常任委員長

資料の提出はないが、褐毛牛1頭だけでは発情鑑定がしにくい。2頭を導入して、農家へ委託するという計画の説明を受けた。

地域間交流推進事業委託は、本年度から体験交流ツアー確立事業を展開していくという説明を受け、事業計画は4月から立てるとのことであり、資料の提出は求めなかった。

### 賛成・反対意見

#### 平成23年度大豊町一般会計予算

##### 反対

小笠原春行議員

畜産振興費の褐毛牛導入費と委託料の予算を計上するには、繁殖経営の傍ら、褐毛牛による耕作放棄地の解消をはじめとし、地域の活性化という相乗効果を目論んでいるが、牛2頭で耕作放棄地が解消され地域の活性化が図れるか疑問であり反対する。

商工費の地域間交流推進事業委託は、既に1年間終了した。本町の観光資源の掘り起こしや今後の観光振興に対する方針など総論的なことはできていると思慮する。しかし、今後の事業計画がない中で1年間委託をした効果が見えないので反対する。

社会教育費の中学生海外研修委託料90万円の計画は、父兄やPTAも知らない。旅行日程表であり十二分に審議ができない。加えて東日本大震災により、学校にも行けない児童や生徒が大勢いる。この予算は被災地に対する義援金に組み替えるべきであり反対する。

##### 賛成



佐藤徳治 議員

平成23年度大豊町一般会計予算は賛成の立場で討論する。近年の人口減や景気低迷などにより、町税、地方交付税が減少する中、3億5千万円超の基金取り崩しによる予算編成であり依然として厳しい財政運営を余儀なくされている。一層の行政改革

に努め将来住民に負担を残さない持続可能な財政構造を確立し、住民の福祉の増進に的確に対応できる町づくりに努められることを望む。

平成23年度の予算は、前年度に対し4億9,800万円の減額、総予算額38億4千万円となっており、減の主な要因は柚子加工施設建設費である。過疎高齢化の進む集落に対する再生支援としてのみんなど支える郷づくり補助金、高齢者を中心とする乗り合いタクシー助成金、子育て支援及び教育施設対策は、高校生修学支援として商工会の商品券支給、中学生の海外研修の実施など。産業建設面では、地域資源を活かし6次産業化に向けた茶石茶やゼンマイ加工、更には鳥獣害対策、ヘリポートの整備、本町全ての橋梁の調査など、様々な分野において、過疎化・高齢化に対応した取り組みや町民の生活を支える取り組みにおいて努力された予算だと判断する。

#### 平成23年度大豊町一般会計予算

##### 反対



小川智也 議員

平成23年度大豊町一般会計予算は反対の立場である。中学生海外研修委託料90万円は、

果たして平成24年度以降も継続して実施されるか何の保証もない。この海外研修の計画に至った経緯を聞くと、旅行日程と現地説明書が提出され、説明不足であり納得できない。先般この海外研修概要が新聞で報道された。私のところへ賛成と反対の意見が寄せられた。賛成は町外の方が多く、旅費の個人負担なしで海外研修が行われる大豊町中学校に魅力を感じる。一方反対の意見は、私の子どもが中学生になったときに本当に旅行できるか分からない、東日本大震災のさなか今行く必要があるのかという声であった。

##### 賛成

今井安博議員

平成23年度大豊町一般会計予算について賛成する。褐毛牛2頭の導入により集落によっては年々増加傾向にある耕作放棄地を牛によって解消するということが画期的なことであり無駄ではないと考える。

体験交流ツアーは町外からの入り込み客により、地域住民が参加することによって、ツアーに対する気運が高まり地域の活性化につながるものと期待をしている。町長は若い人に「夢をつかんでください」という言葉をよく使い、本会議や教育民生常任委員会でも何をつかむのかと再三質問もした。まさしく中学生の海外研修はこの夢をつかむものであり、2年ぐらい前から実施するべきであったと考える。大豊町中学校が他市町村から見たとときに魅力のある学校として大いに期待をするものである。本年度は随行含め33人が海外研修を実施する計画であるが、将来の生徒数を推測すると一桁になるかも知れない状況であり、財政的には心配する必要はないものと思慮する。大豊町の子どもたちが夢を持って第一歩であり強く賛成する。

### 主な条例等

#### 大豊町暴力団排除条例制定

(賛成・全員)

暴力団が町民の生活や社会経済活動に介入し、暴力及びこれを背景とした資金獲得活動によって町民や地域社会に脅威を与えている状況に伴い、大豊町から暴力団について基本理念を定め、町、町民や事業者の責務を明らかにするとともに、暴力団の排除に関する施策等必要な事項を定めることにより、暴力団の排除を推進し、町民が安全で安心な生活を確保し、社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的に制定された。

#### 大豊町総合ふれあいセンターの使用区分・使用料を改正

(賛成・全員)



大豊町総合ふれあいセンタープール

クアハウス、浴室、トレーニングルーム

### 賛成・反対意見

#### 平成23年度大豊町一般会計予算

##### 賛成

今井安博議員

大豊町簡易水道休止中の料金1か月500円を廃止し、新設分担保金は給水装置が既に設置され、水道メーターのみを取り付ける場合は徴収しないことに改正

大豊町簡易水道休止中の料金1か月500円を廃止し、新設分担保金は給水装置が既に設置され、水道メーターのみを取り付ける場合は徴収しないことに改正

大豊町簡易水道休止中の料金1か月500円を廃止し、新設分担保金は給水装置が既に設置され、水道メーターのみを取り付ける場合は徴収しないことに改正

##### 賛成



佐藤徳治 議員

平成23年度大豊町一般会計予算は賛成の立場で討論する。近年の人口減や景気低迷などにより、町税、地方交付税が減少する中、3億5千万円超の基金取り崩しによる予算編成であり依然として厳しい財政運営を余儀なくされている。一層の行政改革

### 主な条例等

#### 大豊町暴力団排除条例制定

(賛成・全員)

暴力団が町民の生活や社会経済活動に介入し、暴力及びこれを背景とした資金獲得活動によって町民や地域社会に脅威を与えている状況に伴い、大豊町から暴力団について基本理念を定め、町、町民や事業者の責務を明らかにするとともに、暴力団の排除に関する施策等必要な事項を定めることにより、暴力団の排除を推進し、町民が安全で安心な生活を確保し、社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的に制定された。

#### 大豊町総合ふれあいセンターの使用区分・使用料を改正

(賛成・全員)

指定期間は、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間。  
大豊町簡易給水施設の管理に関する指定管理者の指定 (賛成・全員)  
西峰三谷地区簡易給水施設を西峰三谷地区簡易給水組合に。  
岩原本村地区簡易給水施設を岩原本村地区簡易給水組合に。  
岩原野地区簡易給水施設を岩原野地区簡易給水組合に。  
筏木地区簡易給水施設を筏木地区簡易給水組合に。  
指定期間は、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間。

### 議員提出議案

#### 平成23年度大豊町議会議員派遣に関する決議

(全員賛成)

提出者 総務産業建設

常任委員長 今井安博

議会は住民を代表する議決機関として、その機能を適切に果たすため、議会の自治、自立権に基づいて審査・調査・研修などのために必要に応じて議員を派遣するための決議。



簡易給水施設水源 (西峰三谷地区)

#### 議会の委任による長の専決処分事項の指定を一部改正

(全員賛成)

提出者 議会運営委員長 西村正尚

議会運営の効率化やスピードリーな事務の遂行と老人保健法が廃止されたことに伴って、一般会計、国民健康保険特別会計、簡易水道事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の年度未確定における関係予算の増減に関する長を専決処分事項として指定した。

